

各設備



取水設備



水処理設備 1



水処理設備 2



薬品室



ブロワ室



中央監視室



施設案内図



Kanadevia 横浜水循環ステーション

南本牧第5ブロック
廃棄物最終処分場排水処理施設

Kanadevia 横浜水循環ステーション

〒231-0816 神奈川県横浜市中区南本牧4番地3

施設管理



横浜市資源循環局施設課

〒231-0005 神奈川県横浜市中区本町6丁目50番地の10
TEL/045-671-2560

施工

Kanadevia

Technology for people and planet

カナデビア株式会社

東京本社 〒140-0013 東京都品川区南大井6-26-3
TEL/03-6404-0823

横浜営業所 〒231-0033 神奈川県横浜市中区長者町3丁目8番13号
TEL/045-663-3451

請負工事価格 1,545,324,480円(税込)

施工範囲 取水設備、第1凝集沈殿設備、生物処理設備(片系)、第2凝集沈殿設備(汚泥掻寄機)、高度処理設備(ゼオライト吸着塔)、消毒・放流設備、汚泥処理設備(返送ポンプ)



この印刷物は環境にやさしい
植物油インキを使用しています。



南本牧第5ブロック廃棄物最終処分場排水処理施設

Kanadevia 横浜水循環ステーション



横浜市

廃棄物行政を支える南本牧第5ブロック廃棄物最終処分場

南本牧第5ブロック廃棄物最終処分場は、横浜市で唯一の一般廃棄物最終処分場として、焼却工場から排出される焼却灰等の廃棄物を埋め立てています。排水処理施設は、その処分場の運営に必要な不可欠な施設であり、処分場から発生する汚水を浄化処理し、周辺海域の汚染等を防いでいます。

施設概要

敷地面積	排水処理施設 5,600㎡
排水処理施設 計画水量	流入: 1,806㎡/日 放流: 1,500㎡/日
処理方式	第1凝集沈殿処理+生物処理+第2凝集沈殿処理+高度処理(砂ろ過、活性炭吸着、ゼオライト吸着)+最終中和処理+消毒処理
系列数	2系列(第1凝集沈殿処理~高度処理)

第5ブロック廃棄物最終処分場

埋立面積	164,000㎡
埋立容量	400万㎡
埋立期間	平成29年10月~概ね50年

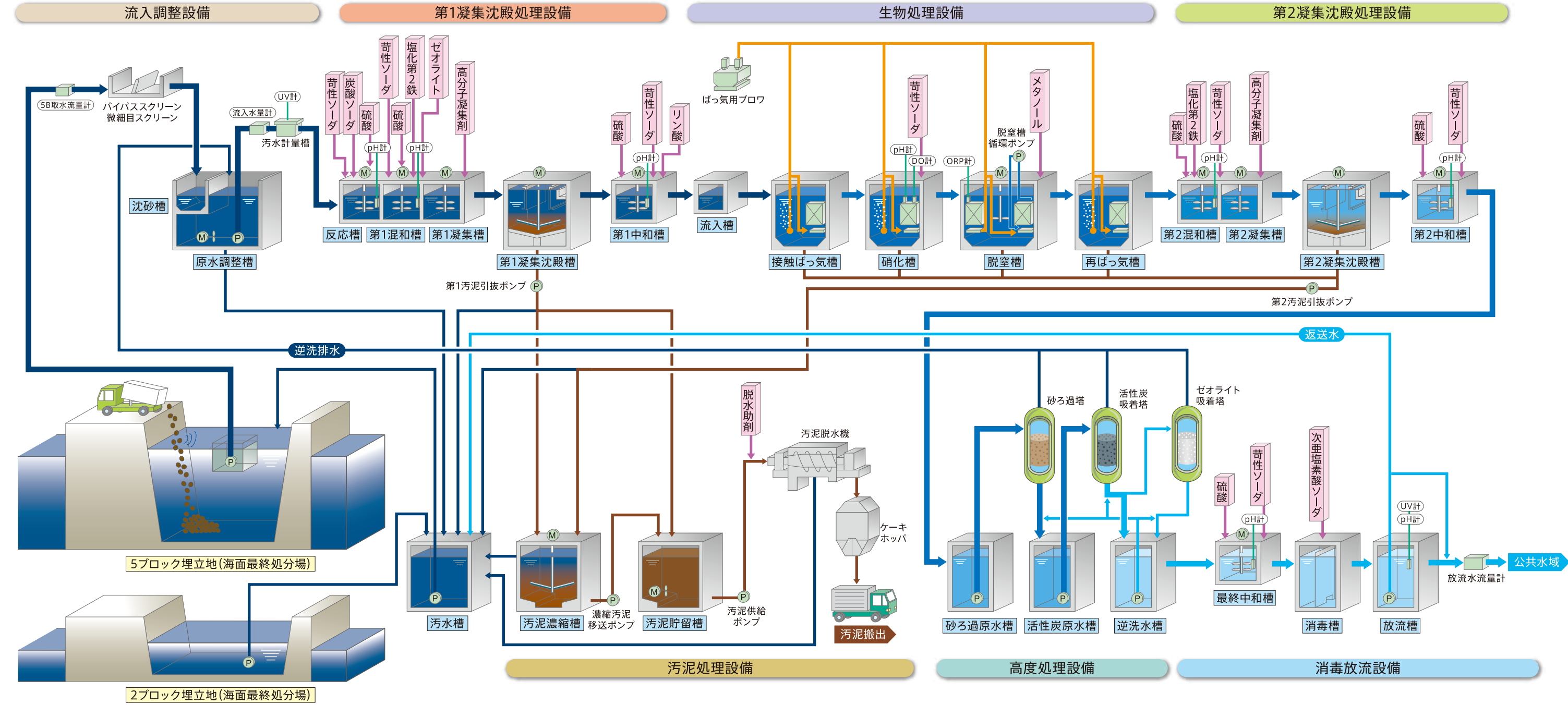
施設配置図



計画水質

項目	単位	計画流入水質 (1期工事)	計画流入水質	計画放流水質
PH	-	8.0~12	8.0~12	5.8~8.6
BOD	mg/L	250以下	500以下	25以下
COD	mg/L	225以下	450以下	25以下
SS	mg/L	200以下	200以下	10以下
T-N	mg/L	75以下	150以下	20以下
Ca ²⁺	mg/L	4,000以下	4,000以下	100以下
有害物質	-	-	-	一律基準以下
その他	-	-	-	一律基準以下

処理フローシート



流入調整設備

埋立処分場内の余水を集水し、処理施設内の原水槽へ送水します。原水槽では空気攪拌をおこない腐敗防止と、水質の均一化を図り後段に定量の水量を送水します。

第1凝集沈殿処理設備

原水中に含まれるカルシウムを凝集沈殿除去し、配管やポンプ類へのスケール付着による詰まりを防止します。

生物処理設備

空気量及び汚水の栄養バランスに留意し、原水に含まれる主に有機性物質・窒素成分(T-N)を微生物の働きにより分解処理除去します。

第2凝集沈殿処理設備

生物処理水中に含まれる浮遊物質(SS)とCOD等を凝集剤を添加して沈殿除去します。又、CODの効率的な除去のため弱酸性及び中性凝集沈殿処理とします。

高度処理設備

第2凝集沈殿処理水に残る微量な浮遊物質を砂ろ過で捕捉・除去します。砂ろ過処理水に残留する溶解性のCODや色度成分を活性炭により吸着除去処理します。放射性物質の除去が必要な場合は、ゼオライトにより吸着します。(通常は待機)

消毒放流設備

公共水域への放流にあたり、大腸菌等の減菌・消毒をおこないます。また、処理水に異常が見られた場合は、汚水槽を経由して埋立地へ送水します。

汚泥処理設備

各処理設備から発生する汚泥を濃縮減容化・貯留し汚泥脱水機により脱水し、ケーキとして搬出処分します。

